

第2回東大和市公共施設再配置計画策定懇談会 会議要録

開催日時	令和8年4月22日（水） 午前10時から正午まで		
開催場所	東大和市立中央公民館 301 学習室		
出席者	○東大和市公共施設再配置計画策定懇談会委員 讃岐 亮委員（座長）、湯浅かさね委員（副座長）、並木史浩委員、 木内健司委員、飯塚庫健委員、岡田亜希子委員、樋口健次委員、島津徳彦委員、 池田陽子委員、内野 恵委員 （欠席：石坂真奈美委員、本田未奈委員） ○事務局 武越政策経営部長、関根公共施設再編担当部長、大野公共施設再編課長、笠原主任 田口教育部長、加藤教育総務課長、長瀬学校施設更新等担当課長 ○受託者 株式会社ファインコラボレート研究所		
会議次第	1 開会 2 会議の公開 3 座長挨拶 4 議題 （1）学校施設とその他公共施設の複合化について （2）その他 5 閉会		
配布資料	・ 次第 ・ 資料1 東大和市の公共施設を取り巻く主な現状 ・ 資料2 公共施設再配置 MAP（素案） ・ 資料3 みんなの学校モデルプラン（七小・九小プラン）資料 ・ 資料4 グループワーク資料		
公開・非公開の別	公開	傍聴者	14 人

議事要旨

○座長

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

まず、次第の 1、開会です。ただいまから、第 2 回東大和市公共施設再配置計画策定懇談会を開会いたします。

続きまして、次第の 2、会議の公開です。傍聴希望者の確認をいたします。

事前に、相当数の傍聴希望者が来られると伺っておりますので、ご報告いたします。傍聴者に入室していただきますので、ご了承ください。

(傍聴者入室)

○座長

傍聴者の入室が完了しましたので、次第の 3、座長挨拶をさせていただきます。

前回 2 月 18 日の第 1 回の会議では、公共施設再配置計画の素案の内容について皆様と共有いたしました。学校施設を中心とした公共施設の再配置によって、「学び」と「集い」の魅力をアップしていくという方向性については、委員の皆様からご賛同をいただいたと考えております。この共通理解の土台を踏まえ、第 2 回、第 3 回の会議において、学校施設とその他の公共施設の複合化について皆様とともに議論していきたいと考えております。

また、本日の会議の後半では、新しい試みとして、より多くの方が発言できるよう、グループワークによって意見を伺う試みをしたいと考えています。よろしくお願いします。

では、次第の 4、議題に移ります。議題（１）「学校施設とその他公共施設の複合化」について、事務局から説明をお願いいたします。

【議題（１） 学校施設とその他公共施設の複合化について】

資料に基づき、東大和市の公共施設を取り巻く主な現状、公共施設再配置の全体像、みんなの学校モデルプラン等について説明

【質疑応答等】

○座長

改めて確認させていただきたいのは、本日は、資料 3 で示されたモデルプランについてご意見をいただきたい訳ではなく、もう少し大きな視点で、資料 4 の「みんなの学校」等についてのテーマが示されているグループワークを実施する際、どのようなポイントについて議論していただくべきか、また、次回のグループワークで何をテーマに話し合いたいのか、すなわち、やや俯瞰的な目線で論点がどこにあるかを委員の皆様に見つけていただくのが本日の到達目標です。

したがって、この点を踏まえ、資料 3 を後ほど参照していただきたいと思います。

そのような視点を踏まえ、事務局からご説明いただいた資料 1～3 の内容について疑問点等があれば、委員間で共有しておいた方がよいと思いますので、ここで受け付けたいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員

資料 1 で示されている人口減少に関して、伺います。現在、上北台において多摩モノレールの延伸

が予定されており、また、桜が丘で新築マンションが建てられていますが、特に芋窪西側の地域の人口について、こうした周辺の状況を加味した人口推計になっているかについて伺いたいです。

○大野公共施設再編課長

現状の推計においては、委員からご指摘いただいた事項については、人口推計の数値には大きくは影響しないという認識であります。

○座長

直近の開発動向については、人口推計に反映しづらい部分があります。というのは、確定値で、ある程度将来の人口を推定していかなければならない都合があるため、恐らく近年のマンション開発の人口推移への影響のような事象は、システム上、想定しにくいと思います。

ただ、市民感覚で、地域周辺に開発等の事象があるというのは是非見ていただきたいですし、それらの事象を臨機応変に、人口推計に、あるいは地域のこれからの動向に反映していくべきだとのご意見をいただければ、意見として当然受け止める必要がありますので、重要な意見だと考えます。

○委員

2点お聞きしたいことがあります。

まず、資料3の6ページのイメージプランでは、学校施設の1階に事務室、保健室、2階に職員室、校長室が配置されていますが、実際にこのような配置で建設された、現存する建物を参考にしてこのイメージプランを作成しているのですか。

○大野公共施設再編課長

このイメージプランは、あくまでイメージです。

実際に学校施設を建築する際は、地域住民の方や学校側のご意見等も聞きながら検討していくことになります。「みんなの学校」がどういったものになるのかをお伝えするためにイメージとしてお示ししたものでありますので、実際に存在する学校施設をモデルにしているものではありません。

○座長

参考に紹介させていただきますが、職員室や校長室を2階に配置するプランは、現実の学校施設の中にも存在します。

○大野公共施設再編課長

現在、東大和市にも、職員室や校長室が2階に配置されている学校はあります。

○委員

次に、現場の視点から私が気になったのは、イメージプランで、保健室と職員室の階が異なるということです。できる限り、職員室と同じ階に保健室があった方が良いでしょうし、事務室も校長室、職員室と同じ階に配置する方がより現実的だと感じております。

○座長

ありがとうございます。

○委員

まず、現在の素案では、五中の生徒が一中に行く案になっており、生徒数を考慮すると、かなりのキャパシティが必要になると思います。その点について、どのようにして受け入れ態勢を整えるのか、また、どのように対処していくのか伺いたいです。

○大野公共施設再編課長

一中については、現在の既存校舎を活用したいと考えています。委員が指摘されたように、当然、生徒数を考慮すると、既存校舎に生徒が入りきらなくなりますので、既存校舎を活用して、そこに増築をして対応したいと考えています。

○委員

一中は相当築年数が経過していますが、市は建て替えを考えてはいないということですか。

○大野公共施設再編課長

統合する段階では、増築での対応を考えております。委員からご指摘いただいたように、一中は、学校施設の中で最も古い訳ではありませんが、築年数が古い方の建物になりますので、増築後、何年か後には建て替えるという形で計画したいと考えています。

○座長

委員のご意見は、「みんなの学校」という枠組みの外にある問題かもしれませんが、重要なお指摘です。今回と次回の懇談会の議題の中心からは若干枠外にありますが、公共施設のマネジメントを検討する上で必要不可欠な視点だと思いますので、記憶しておきましょう。

懇談会のどこかの回で、築年数が経過し、老朽化している一中のような施設について、どのように対処するかについて議論するのもよいと思います。

○委員

素案によれば、小学校を、多目的に、地域の公民館等の公共施設と統合していくことになりますが、中学校に関しては、そういうことをあまり考えていないということですか。

○大野公共施設再編課長

小・中学校のいずれも、周辺施設を複合し、「みんなの学校」とする方針です。ただ、学童保育所については、すべて小学校に複合する考えです。

○委員

以前、七小・九小の統合を検討していた際には、まだ公民館を学校施設に複合する構想はありませんでした。公民館等の公共施設を全て入れようとする、かなりのスペースを取るようになります。五中は意外と狭いと思うので、今後、我々が何か必要な機能を提案したとしても、スペースを確保できない可能性があります。複合する公民館等の機能のスペースをもっと大きくしてもよいかどうかについて、伺いたいです。

○座長

事務局が全て回答してしまいますと、ワークショップで議論するテーマがなくなる可能性がありますので、本日いただいたご意見を書き留めておいていただきたいと思います。また、それを受けて、今後４回目以降の議論の進め方について、例えば、今回の資料１で示されたステップ５までのシミュレーションのやり方そのものの議論を差し挟む等、工夫したいと考えます。

○委員

ありがとうございます。

○座長

先ほど事務局から説明があったとおり、詳細な資料が配布されておりますので、それらを踏まえながら、ここからは、「みんなの学校」という方向性に関する共通認識の下、少し大上段に立って、グループワークにより検討したいと思います。検討後に、各グループから検討結果を発表し、共有していただきたいと思いますので、お願いいたします。

グループ分けやグループディスカッションのテーマについて、事務局から説明をお願いします。

○大野公共施設再編課長

各委員、３～４人の３グループに分かれていただき、議論をしていただきたいと思います。

模造紙と付せん、ペンを用意しておりますので、ご意見を付せんに書き出し、まとめていただきたいと思います。一定の時間で区切らせていただき、グループごとに考えていただいた内容を発表いただいて、この場で共有させていただきたいと思います。

（以下、グループワークの下記①～③のテーマの内容について説明）

- ① 「地域の方が児童・生徒を見守り、交流が生まれるための施設としての工夫」
- ② 「学校施設とそこに複合する施設同士でどのような連携ができたらいいか」
- ③ 「次回のグループワークで学校複合化について何をテーマに話したいか」

【グループワーク】

委員が３グループ分かれて、グループごとにテーマに沿って検討

【グループワークの検討結果の共有】

○座長

それでは、各グループの代表の委員の方から、本日のグループワークで出されたご意見について、２～３分程度で発表をお願いいたします。

【第１グループの発表】

○委員

（テーマ①について）

私たちのグループでは、資料４の①のテーマについて、ランチルームや芝生といったものの共有、場合によっては屋上にも芝生を敷く等して共有できればよいという意見が出ました。

区別されたオープンスペース、あるいは、昼休みの時間帯を大人と児童・生徒が共有するなどし、セキュリティ面では、ガラス張りにして施設の出入りのチェックの徹底を図れば、うまく、合同の行

事、運動会や季節ごとの行事についても、地域の方々と子ども達と一緒に活動できるのではないかと
いう意見が出ました。

(テーマ②について)

また、資料4の②のテーマについては、若干①と重複しますが、大別して3つの意見が出されまし
た。

まず、朝の時間を少し早め、校庭を開放してあげることで、地域の方々と早く登校した子ども達が
交流を持てる時間を設けることや、ランチタイムに地域の方々と一緒に給食を食べたり、お昼休みの
時間を一緒に遊んだりする、そういった時間を組み込むのがよいのではないかと、という意見も出され
ました。

セキュリティについては、特に防犯カメラを設置する、また、入館証、ICカードで、施設の出入り
のチェックを図るといった意見も出されました。

(テーマ③について)

学校現場との兼ね合いもありますが、施設管理者を設置し、地域の方々と児童・生徒の交流につい
てコーディネートする人を発掘する必要があるといった意見や、関連して校内のオープンスペースの
使用方法を考えると、例えばガラス張りにするといった工夫をしていけばよいのではないかと、いう
意見が出されました。

そして、今後、統合により現在ある施設がなくなった後、その周辺に住んでいる方々は、少し統合
後の施設から距離が遠くなる場合もあるため、利便性を図るために、シャトルバスを循環させるとか、
あるいは、自転車通学を許容してもよいのではないかと、といった意見が出されました。

○座長

ありがとうございます。次のグループから発表をお願いいたします。

【第2グループの発表】

○委員

(テーマ①について)

私たちのグループでは、活発な議論が行われました。

まず、資料4の①の地域の大人と児童・生徒の交流を生むという視点では、大きくハード面とソフ
ト面に分類させていただきます。

ハード面では、前のグループでも発表されたガラス張りのように、クラスの中が見えるような形で、
地域に開放されている雰囲気を出せるようなスペースになるとよいという意見が出ました。最も私た
ちのグループ内で盛り上がったのが、せっかく「みんなの学校」という施設ができるので、レストラ
ン等の食事ができる場所が必要だという意見です。

子どもがいたら、親同士のつながりが本当に重要です。食事をできる場所があれば、「みんなの学
校」に行くきっかけになりますし、食事を通して親同士の距離感を縮めることができます。食事をで
きる場所が一つあれば、「みんなの学校」に行った際に、地域の中でつながりが生まれやすいというこ
とで、満場一致でレストランを作りましょうという話になりました。

ソフト面では、学校を軸に考え、地域との交流について、子どもが実際に店を作る等、地域の方々
に対して、本当に物が売れるのか売れないのかということについて、シビアな店舗での体験ができれば、
良い機会になると思います。

今後、子ども自身が、自立する力をつけていく際、お金の勉強にもなります。「みんなの学校」は子

どもたちがチームで店舗づくりを体験するのに適した場所になるのではないかとということが一つの意見としてあります。

また、遊びについて、学童保育等で親が教えられる遊びよりも、ベーゴマや将棋等、ある程度高齢の方が得意な遊びには、刺激になるものが多くあります。それらについては、現在の親の世代では、なかなか教えられません。「みんなの学校」は、様々な世代の方が交わる良い機会ですので、高齢の方にそういう昔の遊びを教えていただくことで、それが交流につながればよいという意見が出されました。

加えて、小学1年生のような小さい子どもは、見知らぬ人のことを覚えるのに、あだ名をつけると距離感が縮まります。それは、些細な事柄ですが、地域の方々との交流の中で、お互いをあだ名で呼び合えるようになれば、距離が縮まるのではないかと考えます。

(テーマ②について)

次に、資料4の②の「施設同士の連携」については、民間施設と公共施設という形で分類させていただきました。このテーマで一番盛り上がったのがスーパー等のテナントスペースについての議論です。これについても子育ての視点が入りますが、行った施設内で買い物ができると、非常に助かるのです。

公共施設に行った際、ついでにワンストップで子どもの面倒を少し見ておいていただき、その間に買い物ができると幸せを感じられます。子どもが「おやつが欲しい」などと騒いだりすると他の来訪者の方にも申し訳ないと思います。

そのため、施設の中にテナントスペースを作ること、お金の面でも、「みんなの学校」自体が稼ぐポイントにもなるのではないかとという視点も入れて、私たちのグループでは、公共施設だけでなく、地域の民間施設も入れるスペースを確保できるとよいという意見が出されました。

さらに、実際に、整形外科が市民の居場所になっている現実があります。整形外科を受診する際は、通常、相当な時間待つことになります。地域の方々が給食の準備を少し手伝う等、1～2時間程度かかる場合がある整形外科の待ち時間を利用し、学校や他の公共施設をうまく活用することで、何か他の用事とセットで行けるようになれば、「みんなの学校」が良い施設になるのではないかとということです。

また、公共施設同士の連携については、現在ボール遊びをできる場所が非常に少なく、ある程度広い施設を予約する必要がある、ボール遊びをするためのハードルが上がっています。都立東大和南高校が女子サッカーで強化指定され、都立東大和高校もかつて都立の星と言われて野球では有名でしたし、ボール遊びは、東大和市にとって親和性が高いものだと思います。需要があると思いますので、施設内にボール遊びができるゾーンをあえて作れば、「みんなの学校」が地域ごとにあるので、非常に使いやすいスペースになると思います。これまで実施されたアンケート調査等で、子どもたちの意見の中にも、ボール遊びについては、非常に多くの意見が出されていたので、先ほどの意見は子どもたちのニーズにもかなうと思います。

(テーマ③について)

最後に、資料4の③のテーマについては、今後議論したいこととして、先程の②と合わせて民間施設との複合化についても議論したいと考えます。

また、「みんなの学校」と言う時に、それぞれの方の「みんな」という言葉の意味がまだ統一されていないのではないかと思います。私の場合、妻が車椅子ユーザーであるということがあり、私にとっては、「みんな」という言葉に障害者、車椅子ユーザーが含まれているのです。「みんな」という言葉は、どこまでの範囲の方のことを言うのかについて、まず委員の皆様の中でしっかり統一した方が良

いのではないかと考えます。

○座長

ありがとうございます。最後のグループから発表をお願いします。

【第3グループの発表】

○委員

(テーマ①、②について)

私たちのグループでは、資料4の①と②のテーマの両方に関わってくるような意見が多く出されました。まとめて発表したいと思いますが、①と②の中で、1つ目は、環境を生かした工夫があり得るのではないかとということです。

例えば、校庭の活用です。トラックがあるだけの校庭ではなく、畑や植物園等、何か多様な活動が生まれるような場所にならないかということです。校庭に限らず、屋上等様々な活用ができる場所があるのではないかと意見が出されました。

それから、学校敷地内に限定せず、周辺的环境、自然環境も含めて様々な環境を活かした形で校外学習の拡大、活発化ができるとよいのではないかと意見も出されました。

これと関連して、今回、「みんなの学校」になるということで、学校施設に多くの公共施設等の機能が集約されることになりますので、年代や属性に関して様々な方が来訪されることになります。そういう様々な方々が、一緒に何かできる、年齢差があっても対等に何かできる場所を確保する重要性が指摘されていました。例えば、合同の行事、運動会、音楽会、お祭りのようなもので、先生以外の方が先生役になれる場面が増加し、どんどん交流が活発化していくとよいのではないかと意見が出されました。

それから、施設を利用する方々がどんどん増えていくようにしたいという話になります。分単位、秒単位で利用時間の柔軟な設定を可能にできればよいのではないかと意見、地域の方々の活動を子どもたちが見えるようにすることで、自然に様々な地域の活動に興味を持てるような環境ができるのではないかと意見も出されました。大人の側からすると、授業の様子を見てみたいという声もあるのではないかと思います。

このような児童・生徒と地域の方々の間の、「見る」、「見られる」といった関係が自然に作られていけば、施設の中で死角がどんどんなくなっていくのではないかと話になりました。

加えて、②のテーマの枠内に含まれるか分かりませんが、長期のスパンで計画を検討する中で、最初から全て施設を新築で整備するのではなく、既存の校舎や公共施設を活用し、トライアルのようなことをやってみるのもよいのではないかと意見も出されました。

他のグループの発表でも出されていましたが、登下校の時間の前後に学校の運営時間の延長のような時間を設けることも、こういう複合化を進めることによって可能になるのではないかと意見も出されました。

(テーマ③について)

最後に、資料4の③の次回以降のテーマについては、やはり安全・安心に関わる内容を重視する必要があるため、校舎・施設のセキュリティ面の話し合いは必須だということです。ソフト・ハード両面から検討したいという意見が出されました。

学校までの距離についても、本日の資料中でシミュレーションが示されていましたが、通学方法の検討とともに、この懇談会で一度議論してもよいのではないかと意見も出されました。

子どもたちの保護者の方々の意見を是非聞きたいという意見が出されました。

最後に、子どもたち自身の意見も聞きたいという意見が出され、私も非常に共感しました。

○座長

私自身、最後に委員が共感されたことを次回の総評の時に使おうと考えていました。「みんなの学校」の主役が誰かという点を考えると、もちろん地域の方々もそうですが、学校という機能は未来永劫なくなならないはずで、その中心にはやはり子どもたちがいると思うのです。

だからこそ、この懇談会では、俯瞰的な意見交換をしている訳ですが、子どもたちのリアルな声を聞いた際、「いや、実は複合化なんかしたくないよ」という声や、「いや、もっともっと誰かと一緒に交流したいな」という声を拾うことの大切さを、今の共感の言葉で改めて痛感しました。

それから、私自身も共感できるのは、食べる時間をどうやってデザインするか、ということが、交流のきっかけを考える上で良いキーワードになるということです。第2グループから、そういうご意見の紹介がありましたし、私自身も気づかされた点ですので、大事にしていくべきキーワードだと思います。

これら以外にも、たくさん良いキーワードを出していただきましたので、これらを整理し、資料4の③のテーマについて、次回のグループワークで重点的に対話したいと考えています。

皆さん、ご協力ありがとうございました。

これで今日の懇談会の最も重要な点については達成できたかと思いますが、もう一度質問しておきたい事柄や確認しておきたい事柄があれば、お受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員

3点だけ簡潔に伺います。

まず、公共施設の再配置については、本日も多くの方が傍聴に来られていて、パブリックコメントでもかなりの数の意見が出されています。そういう状況の中で、市のホームページを見た際に、この計画の素案とパブリックコメントの結果がどこに掲載されているかという問題があります。これは非常に重要な問題だと思いますので、ホームページ上の分かり易い箇所に、このテーマについての話を掲載していただくことを検討いただきたいというのが1点目です。

次に、現在、児童数等の推移に関するシミュレーションについては理解しましたが、先ほどの中学校の増築の話が出された中で、出せる範囲で財政的なシミュレーションを提示していただきたいと思います。

最後に、私も幼少時代、五小で野球チームに参加していましたが、やはり各小学校にクラブチームや空手等子どもの居場所があります。統合等により学校をなくした際、そういう居場所の問題をどうするかという議論は必要だと考えます。子どもたちの居場所がなくなる訳ですので、そこで教えているコーチの方々の居場所もなくなる訳です。そういった視点も必要だと思います。

○座長

ありがとうございます。次回に向けて、宿題にさせていただきます。

議題（1）は終了とさせていただきます。ここまで本当にいい議論ができたと思います。続いて、議題（2）のその他について何かあれば、事務局からお願いします。

○大野公共施設再編課長

今回の会議は6月の下旬を予定しております。現状では、6月29日に第3回懇談会を開催させていただきたいと考えております。改めて調整させていただきます。よろしくお願いいたします。

座長から、次回もグループワークをしたい旨のお話がありましたが、次回も「みんなの学校」について議論をしていただきたいと考えております。

また、お送りした懇談会の開催通知に同封させていただきましたが、5月25日に学校複合化事例の視察を予定しております。出欠については、大野にご連絡いただきますよう、お願いいたします。

○座長

本日の議題は以上となりますが、全体を通して質問等がありましたら、お受けします。

○委員

今回の素案についてのパブリックコメントの内容を拝見させていただきました。

パブリックコメントで出された意見の中には、似たような内容も多々ありました。ただ、市の回答についても、似通った回答の仕方のものが多々ありました。

可能な範囲で結構ですので、説明できるところについては、もう少し詳しく回答いただけるとよいと思います。

○座長

ありがとうございます。貴重なご意見として受け止めさせていただきます。他にはよろしいですか。

懇談会終了後も、何かお気づきの点等がありましたら、事務局にお問い合わせいただきたいと思います。以上で、本日の議題は全て終了いたしました。

これをもちまして、第2回東大和市公共施設再配置計画策定懇談会を閉会いたします。ありがとうございました。

以上